

サポーター会議 報告

2022年5月18日(水)

☀️昼の部 14:00~15:30

👥参加者 8名

★夜の部 18:00~19:30

👥参加者 12名

ブックフェスタ進捗説明

『ブックフェスタ』とは、9月~10月にかけてまちライブラリーで行われている本のお祭りのことです。今年からはグリーンベルト・まちライブラリー・商店街などを会場に9月2日~4日オープニングイベントとして千歳からスタート★3月のサポーター会議後からの進捗説明をしました。

ブックフェスタ まちライブラリー内の企画

●オープニングトーク

『本の力でまちを変える(仮)』

日時:9月2日(金)13:30~16:30

- ・橋爪紳也氏(大阪府立大学研究推進機構特別教授)
- ・荒井宏明氏(一般社団法人北海道ブックシェアリング)
- ・佐藤優子氏(ライター)
- ・磯井純充(まちライブラリー提唱者・森記念財団)

●セミナー

『エリアマネジメントで変革する公園(仮)』

日時:10月20日(木)午後

- ・ブックフェスタ報告会
- ・小林重敬氏(一般社団法人森記念財団 理事長)

●植本祭

日時:9月3日(土)4日(日)

10:15~17:00

それぞれのテーマに沿った本を自己紹介の代わりにもちより、1時間半程度テーマについて語ります。



★植本祭での主催者
(カタリスト)を募集します

★ブックフェスタやまちライブラリー@ちとせを支えてくれるボランティアサポーターさんを募集中

参加者さん本の紹介..



サポーター会議では自己紹介と本を1冊紹介してもらっています。

- *なぜ星付きシェフの僕がサイゼリヤでバイトするのか? *海へ
- *ケーキの切れない非行少年たち *野村セオリー絆 *人生の9割は歯で決まる!
- *デフ・ヴォイス *なぜ生物は死ぬのか *文化が人を進化させた *日本奥地紀行
- *本のフルコース *掃除婦のための手引書 *誕生日大全 *裏閻魔 *記者ハンドブック
- *間取り手帖 *津軽

今回のサポーター会議では・・・

再開してからまちライブラリー@ちとせを沢山のの人に利用していただくために、Facebook・Instagram など SNS やちとせの幸せ図鑑・通信 Times や小次郎と記念写真など目に触れていただけるよう発信しています。

千歳のまちライブラリーが再開して感じる事・思うことや今後、もっと沢山のの人に利用してもらうには？など日頃感じていることなど教えてください。をテーマにご意見をもらいました。

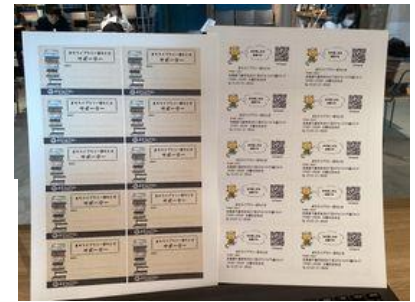


沢山集まりすぎても窮屈に感じるかも。
年齢層を考えたイベント・仕事や学校帰りや土日に参加できる
イベントがあるといい

名刺サイズでカードのようなチラシを作り、サポーターさんを通じて自分が主催するイベントを書き込み周りの人に配ってもらっては

イベント時駅前など館外でも会員登録ができるよう
考えていきたい

口コミ効果は大きく、それがあつたからここまでこれたと感じる。
『ライブラリーは楽しいところ』と聞けば行ってみたいと思ってもらえる



早速、作ってみました！

電車やバスの待ち時間も巣箱を利用して無人でも本を借りたり、
返却できるようになると便利

露出がまだ少なく感じる。人が集まる場所(町内会館など)
目につくところでチラシを配布したり、ちゃんとや道新など
メディアとの連動



大学生・高校生が主催したり、まちライブラリーとコラボも
おもしろい(千歳高校の商品開発など)

ロゴ入りTシャツを
作ってスタッフが着るなど
自然と目にする機会を
作る。

展示を見に来ることを期待。
貸し本棚を設け、自分の作品や関連図書を
展示できるスペースがあるといい

A 看板にどんな施設で誰でも無料で利用できること
を、もう少しわかりやすく提示してみても



サポーターさんが
書いてくれました

スタッフから



- ・タウンプラザに比べ、面積は狭くなったが、その分サポーターさんとスタッフとの距離が近くなったと感じる。先月行われた『さぽ navi』では登壇者の他、たまたま来館した方から質問や飛び入り参加の学生もいました。これも、館内の広さが適度で、人の目も届きやすくなった効果だと感じる。
- ・スタッフと学生との距離が近くなった。勉強しにきているだけの学生さんでも、こちらか声を掛けると、気持ちよく話してくれてスタッフとの関わりを楽しんでくれていると感じられることも多い。
- ・実際に勤務してみると改めて感じることが多い。全国のまちライブラリーの中でも『ちとせはサポーターが熱心である』と感じていたが実際には想像以上。タウンプラザ時代からの利用者、新しく関わってくれるようになった方、それぞれに刺激し合いライブラリーらしさを失わずいい影響を与えられたらいい。
- ・利用者や会員登録を増やすにはどうすれば良いかを、日々話し合っている。近く会員登録が3000人に達する見通し。それに合わせ、スタッフ手作りのくす玉・オリジナルグッズをプレゼントし、新会員さんを祝福する計画もあります。最近、1万冊突破。寄贈してくれた方にオリジナルグッズをプレゼント。記念撮影やくす玉を使ったささやかなセレモニーを行った。
- ・年輩の方がふらりと立ち寄ってくれるのはいい。『ああ、今日も元気に来てくれた』と嬉しくなる。借りていく本が、自分の好きな本と一緒にだったりすると、親近感が湧いて、お話してみたいと思う。
- ・カウンターにいるよりも話しかけやすいのでは？と考え、館内をウロウロしながら本棚の整頓をしている。
- ・JRインの宿泊者など、ライブラリー前を通りかかる人には積極的に声掛けをして、中に入ってもらおうこととしていきたい。

ご参加下さいましたみなさん、ありがとうございました。

次回のサポーター会議は6月の予定です。